



No. 142

平成30年7月9日 発行  
吾妻教育事務所  
吾妻郡町村教育委員会連絡協議会

## 小中学校の連携の推進

吾妻教育事務所長

山田 一彦



今年度も4月17日に全国学力・学習状況調査が実施されました。各学校とも適切な実施に努めていただき、特に問題もなく終えられたことに感謝しております。

さて、昨年度の全国学力・学習状況調査結果(群馬県全体)の学校質問紙調査では、全国と比較して成果・課題となる項目がいくつかありました。特に、注目すべき点として、小中学校の連携に関する項目の評価が低いことがあげられており、小中学校の連携の推進は群馬県の課題の一つです。

吾妻管内の小中学校の連携状況はいかがでしょうか。すでに、相互の授業参観、教育課程や指導方法にかかわる情報交換、学習習慣や生活習慣(幼(こ)小中のアウトメディアの取組)の定着にかかわる連携、生徒指導等にかかわる情報交換、学校行事等の児童生徒の交流等、充実した取組が展開されています。さらに、授業中の教科指導において、教科の専門性を生かすための連携等も多く各学校で工夫されています。

学校間の連携を推進しやすいことは吾妻の強みであり、より一層の学力向上、生徒指導等の充実が期待できます。今後とも、小中(小小)学校の連携について、充実した取組が展開されることに期待したいと思います。

## 公務災害の発生防止について

【総務係】

吾妻教育事務所管内の学校においては、ここ2年間公務災害が増加しています。公務災害の発生原因は、注意不足や焦り、不安、知識不足、訓練不足などからくる判断や行動の誤りによるものがほとんどであると言われていています。平成28・29年度に吾妻管内で発生した公務災害の特徴や傾向をお伝えしますので、災害防止対策の参考にしてください。

小学校では階段、渡り廊下、玄関での移動中の災害が5件と多く発生しています。急いでいて転倒したり、誤って段差を踏み外したりして怪我をするケースが見られます。また授業中の災害としてはスケート指導に係る氷上での災害が3件発生しています。バランスを崩して転倒し、頭部を強打するケースが見受けられます。

中学校では、発生した5件の災害がすべて部活動指導中の怪我となっています。生徒に模範を示した時や生徒と一緒に練習や試合を行った時に発生しています。

吾妻教育事務所管内の公務災害・通勤災害認定申請件数(過去5年間)

年度	申請件数	内 訳	
平成25年度	4件	小学校 4件	中学校 0件
平成26年度	9件	小学校 8件	中学校 1件
平成27年度	0件	小学校 0件	中学校 0件
平成28年度	10件	小学校 6件	中学校 4件
平成29年度	11件	小学校 10件	中学校 1件

全体の傷病の種類としては、アキレス腱断裂が4件と多く発生しています。足や肋骨の骨折3件、頭部の打撲3件、捻挫3件などとなっています。職員の皆様は、ご自分の職務においてどのような時にどのような災害が発生しやすいのかをあらかじめ把握していただき、体を動かす際には準備運動をよく行い、災害が起らないよう注意して職務にあたるようお願いします。